

令和5年度 福島県 女性活躍・働き方改革促進事業
働き方改革モデルづくり

エクセルツリー株式会社

 EXCEL TREE Co.Ltd

会社概要

社名	エクセルツリー株式会社
所在地	福島県郡山市朝日1丁目29
設立	2008年 8月 8日
従業員数	男性 18人 女性 107人
業務内容	労働者派遣業 有料職業紹介 業務請負
経営理念	<p>ALL FOR SMILE 全てはみんなの笑顔のために！</p> <p>(科学性)お客様の笑顔のために、私たちは次世代にふ・か・け・つで高品質なものを提供します。 (社会性)地域の笑顔のために、私たちは地域創生に貢献できる事業・人間を育みます。 (人間性)社員・家族の笑顔のために、私たちは運・縁・恩を大切に、愛情を込めて人に接します。</p>



取り組みのきっかけと目標

1. 責任感の強いチームで個人スキルも高いメンバーがそろっているが、それぞれの裁量で業務を進めているため、互いの進捗状況が把握できず連携に課題があった。
2. 日々の業務に追われて「時間ができたらやろう」と思っている業務に着手できずにいた。
3. 数値目標やルーティン業務に囚われ、モチベーション維持に課題を感じていた。

以上のことから、3つの目標に向けて取り組みをスタート

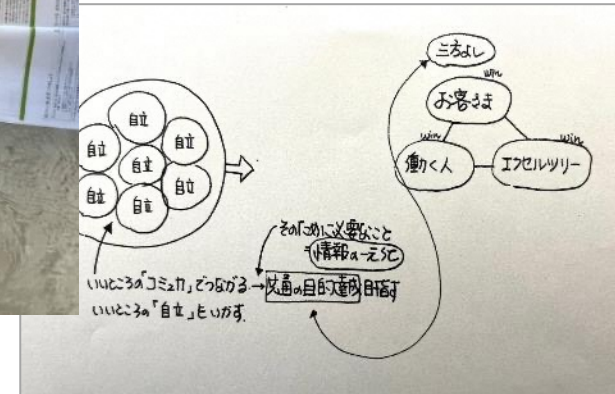
業務の見える化と社内連携を強化し
全体の情報共有が出来るようにする

業務の優先順位と重要度を洗い出し
担当を決めて着手する

チームのありたい姿を再確認し
毎日ワクワクのある働き方をする

取り組み内容

1. これまでの「時間が取られている業務」と「時間があればやりたい業務」を洗い出すことからスタート。なぜ時間が取られているのか、効率化は図れないか、そのためには何が必要かの要因分析を行い、「派遣スタッフ情報管理の一元化」に着手。総務メンバーが中心となって勤怠管理や契約書、給与等に関わる書類の取り扱いを営業メンバーと連携しながらシステム化を図った。
2. 毎回のカエル会議で情報共有を行い、新規事業のブレインストーミングを実施。会社・クライアント・スタッフが三方良しとなることをゴール設定とし、「いつまでに・誰が・何を」するかを話し合った。



取り組み成果

1. 情報管理のシステム化を図り一元化が実現したことで、総務スタッフと営業スタッフの情報共有がスムーズになり、印刷費・郵送費・作業時間等が大幅に削減された。
2. 業務の①「重要度と緊急度」、②「実効性と効果」についてマトリクス分析を行ったことで新規事業の方向性が明確になった。議論が空中戦になり停滞した時期もあったが、カエル会議を繰り返すことでファーストステップを踏み出すことができた。
3. 自身の大切にしたい「価値観」をワークセッションで言語化し、他のメンバーと共有することで相互理解が深まり、担当役割のあり方や進捗管理などにおいてそれぞれの個性と強みを活かせるチームへと成長した。



取り組みから感じたこと

メンバーの感想

- ・カエル会議を重ねるなかで、いい意味で言いたいことが言える空気感ができたように思います。そして、それはワクワクを共有できる空気感でもあり、これからのチームワーク造りとその成果が楽しみです。
- ・今まで社内でやろうやろうと思っていたことに一歩踏み出すことができ、実際に運用を始めることができたことで、これからも社内みんなで話し合いながら効率よく、そして楽しく仕事ができるような環境を作りたいと思った。自分を含め、みんなが何が得意で何を苦手としているのか、そして今後何が必要なのかが少しずつ見えてきた気がする。
- ・個々の思いや課題を出し合う事で、一定の取組成果はあったと思います。大事なのは、これからも自分達で、今回の仕組みを運用出来るかどうか！

事務局から

会議を重ねるに連れて、それぞれのペースや思考が見えた事で、どの様に進めて行けば良いか悩む時期もありました。しかし、今回の取り組みをきっかけに具体的な業務の整頓を期間を決めて進めることが出来るようになり、互いの意見を遠回りせずに話せる環境に変化してきたと感じました。また、継続することで習慣化すること、またよく伝え合う事の大切さを改めて学ぶことが出来ました。

今後に向けて

多角経営のメリットはリスク分散できることだが、デメリットは取り組む力が分散してしまうことです。今回の、カエル会議によって情報共有化を図り、力を結集して取り組んでいきたいと思えます。